

## 研究主題 「新たな特別活動の進め方」

### I 団体の概要及び研究テーマ

#### A. 団体の概要

特別活動の特質である「望ましい集団活動」の在り方を問い直し、生徒が困難や苦難を乗り越え、仲間とともに生きる目標と、生きる喜びをもつ「強い心」を育むため、特別活動の在り方を研究する。月例会や研究協議会を通して、都立高等学校教師の特別指導における指導力向上を目指し、ホームルーム経営力、生徒理解力の向上を図ることを内容とする。

#### B. 研究テーマ

##### 「新たな特別活動の進め方」

本研究会においては、令和4年度から高等学校において実施されている「高等学校学習指導要領」について、平成30年から研究を重ねてきた。そこでは、特別活動で育成を目指す資質・能力が明示され、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」という三つの視点を手掛かりとして明確に区別することなく有機的に関連付け、育成する資質・能力に関わるものとして捉えることが重要だとされている。研究主題を「新たな特別活動の進め方」として、新型コロナウイルス感染症等の非常時に限定することなく、デジタル機器の活用等コロナ禍でも開発されてきた取組を含め、個に応じた教育活動等も含有した特別活動の新たな実施について研究活動・実践報告を展開している。

### II 研究テーマに沿って重点的に取り組んだ内容

学習指導要領に定められた特別活動のホームルーム活動・生徒会活動・学校行事の3領域を中心に、都立高等学校の実践的な取組を基に、事例研究を行う。生徒との関わり方や指導方法について、基調提案・実践報告・講演等を通して、教師同士が学び合う場を設ける。

今年度は発表者による実践報告を基にして、参加者による情報共有や、所属校での日頃の指導に活かせる方法について研究協議を重点的に取り組んだ。特に、多くの初任者に参加いただき、「担任になったらどのように対応するか」、「ホームルーム担任以外でありながら特別活動を通して生徒の資質・能力をいかに育むか」等の意見交換を行った。



### Ⅲ 研究の内容、成果、課題

#### A. 研究の内容

① 第1回研究協議会（7月12日 東京都立石神井高等学校）

基調提案 「ホームルーム担任の仕事 1日1年」

実践報告 「生徒との関係作りで担任として大切にしてきたこと」

②第2回研究協議会（10月22日 東京都立石神井高等学校）

実践報告 「特別活動における三つの視点を踏まえた資質・能力の育み方  
～中等教育学校での実践事例から～」

② 東京都教職員研修センターとの連携研修（8月29日）

（令和6年度専門性向上研修「5321\_特別活動【I】」）

テーマ 「特別活動の基礎・基本ー特別活動における三つの視点を踏まえた資質・能力の育み方ー」

内容 「中等教育学校における特別活動の実践」

#### B. 成果

第1回は53名、第2回は55名の教員等の参加があった。特に初任者の参加が多く、特別活動の実践を基に、他校の事例や工夫、生徒との関わり方を学ぶことができた。また発表後は、参加者同士の有意義な研究協議となった。

#### C. 課題

昨年度より参加者が増加している傾向にあるため、経験豊富な教員の参加者の増加が望まれる。参加者の募集の工夫が必要である。また、新たな特別活動の進め方をさらに研究・協議する必要がある。

### Ⅳ 今後の活動予定

○第3回研究協議会（1月10日 東京都立石神井高等学校）

第39回東京都高等学校特別活動研究協議大会

研究報告「テーマ 未定」

○3月研究協議会（3月6日 東京都立石神井高等学校）

次年度のホームルーム担任となる教員向けの研究会を開催する予定である。



○研究紀要 第60号（令和7年3月）を発行予定である。

#### <令和6年度連絡先>

団体名		特別活動研究会	
代表者	所属	東京都立石神井高等学校	
	職氏名	校長 藤野 泰郎	
	連絡先	03-3929-0831	
事務局	所属	東京立武蔵高等学校	
	職氏名	主幹教諭 峯岸 久枝	
	連絡先	0422-51-4554	
団体ホームページ	URL	<a href="https://tokkatsu.com/">https://tokkatsu.com/</a>	二次元コード